

2018.5

vol. **50**
春号

かわら ろうさい 版



特集

◆ 歯科用CT新規導入について P2・3

フォーカスインタビュー

◆ Focus Interview

耳鼻咽喉科部長 **北南 和彦** P4

◆ 連携登録医のご紹介

「やひろクリニック」院長 **鮫島 八寿子** P5

◆ 感染管理認定看護師とは？ P6

◆ 新任医師紹介 P7

◆ 人事異動のお知らせ P7

◆ 平成30年度がんサロン「ひなたぼっこ」 P7

基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者さんの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

臨床倫理方針

1. 患者さんの人権を守ります。
2. 患者さんの自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守し診療を行います。
4. 患者さんの信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者さんのプライバシーを遵守し、個人情報の保護を徹底します。

鉏路ろうさい病院の理念

最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

より安全で質の高い、
歯科治療を提供したい。



特集

歯科用CTの新規導入について

歯科口腔外科部長

ふじもり まさき

藤盛 真樹

写真右上／角 伸博先生
写真左上／小川 仁先生
写真右下／藤盛真樹先生
写真左下／嶋崎康相先生

この度、歯科口腔外科では、歯科用CTを新規導入することとなりました。これまでも現存の医科用CTを用いて画像診断を行なっておりましたが、今後新たに歯科用CTを活用することで、患者様に対し、より安全で、より正確かつ迅速な歯科医療を提供することが可能となります。

今日、医療を行う上で、レントゲン写真などの画像を用いた検査は必須であり、欠くことができない検査です。私たち歯科医師が治療の対象とする、顎骨（上あご・下あごの骨）や歯の病

変に対してCT検査を行うことで、単純なレントゲン写真だけでは得ることができない、病変の大きさや広がりといった立体的な情報を短時間で広範囲に得ることができます。

今回導入する歯科用CT（モリタ社、Veraview X800）は、顔面や顎の骨の検査に特化したCTであり、以前まで当科で使用していた医科用CTと比べ下記のような利点があります。

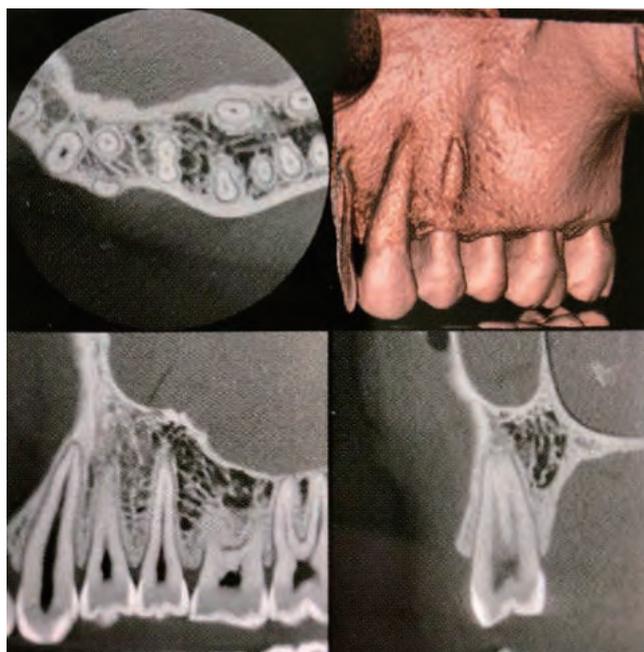
1.治療目的に沿った最適な撮影範囲（解像度）を設定できる

2.撮影範囲を最適化することで、医用CTより少ない被曝量で撮影できる

具体的には、これまでは上顎、下顎、顔面全体と広範囲にしか撮影できなかったCT検査が、今後は上記の範囲はもちろん、それに加えて歯列や歯だけをターゲットとして撮影することも可能となります。

例えば、歯の根の先に感染が疑われた場合には、原因と考えられる歯とその前後数本の歯のみに焦点を当てて撮影することが可能であり、歯科専用の機器であるため、その画像精度も格段に高くなります。

(下図参照)



▲モリタ社 Veraview X800 パンフレットより引用

また、詳しく調べたい病変に焦点を当てて検査ができるため、一回の検査での被曝線量を減らすことが可能となります。これまでの検査でも日常生活には問題ない程度の被曝線量ではありましたが、さらに被曝線量を減らすことが可能となったため、医療安全の観点から

も患者様へのメリットが大きいと言えます。

その他の利点としては、

3.撮影時間が短い

4.歯の金属による画質の低下を防ぐことができることも挙げられます。

医用CTによる検査はMRIと比較しても短時間で終わることのできる検査ではありますが、歯科用CTはさらに撮影時間を短くすることが可能となり、検査による患者様のストレスを軽減できます。

また、レントゲン写真やCTによる検査では口腔内に金属(いわゆる銀歯など)があった場合には、金属による反射が起こってしまい、画像の精度が著しく低下する場合もありました。今回の歯科用CTは、金属による反射を目立たなくすることが可能であり、より診断の精度を高めることができます。

その一方で、歯科用CTは硬組織である顎骨や歯に特化した装置であるため、軟組織の病変に対しては詳しく調べることができません。軟組織の病変が疑われる場合には、歯科用CTではなく、従来どおり医用CTを撮影して精査します。

歯科用CTは上記のような多くの利点がありますので、これを活用することにより、さらに地域住民の皆様へ質の高い歯科治療を提供できるよう、今後も努力いたします。

気になるあの先生に聞いてみました!

フォーカスQ インタビュー

耳鼻咽喉科部長

ほくなん かずひこ
北南 和彦



PROFILE

昭和57年 旭川医科大学医学部卒業
同 年 旭川医科大学 耳鼻咽喉科
昭和59年 旭川赤十字病院 耳鼻咽喉科
昭和61年 旭川医科大学 耳鼻咽喉科
昭和63年 市立稚内病院 耳鼻咽喉科
平成2年 旭川医科大学 耳鼻咽喉科
平成5年 釧路労災病院 耳鼻咽喉科現職

Q1 医師になった動機を聞かせてください!

中学生の時獣医だった父親を亡くしてから母親と妹と三人暮らしでした。母親の苦勞している姿を見て将来安定した職業に就きたいと思っていました。高校生の時に母親の勧めもあり医学部を選びました。恥ずかしながら特に崇高な志を持って医師になったわけではありません。

Q2 座右の銘を教えてください!

「手術は頭でするもの」

新しい機械・新しい手術術式や外科医の手さばきに眼を奪われがちですが、最も大事なものは理論的に考えて最も良い手術の順序・方法やタイミングなどを選択することだと考えています。手術にはスタンダードなもの、手術手技書に書いてあるものが存在してそれはそれで価値が高いといえます。しかし実際の診療では患者さんそれぞれに違った状況があるのでそれに合わせてオーダーメイドで手術術式を修正する必要があります。また手術してからでなければ得られない情報もありますので、それに応じて柔軟に手術術式を変更することも重要です。もちろん基本的な手術手技ができなければ話になりません。常に基本的な手術手技をブラッシュアップすることも心掛けています。

Q3 専門分野について聞かせてください!

耳鼻咽喉科といえば耳の穴や鼻の穴をのぞき込み処置を行う科で、外来では小児が泣き叫んでいるというイメージをお持ちではないでしょうか。そういった一面もないわけではありませんが、当院のような総合病院のしかも複数医師のいる耳鼻咽喉科はそのイメージとはかなり離れた仕事も数多くしています。まず、入院患者さんの1/3から1/2は咽頭がんや喉頭がんなどのがん患者です。入院して放射線治療や抗がん剤治療を受けています。また、急性喉頭蓋炎・深頸部膿瘍など窒息すなわち生命に危険が及ぶリスクをはらんでいる疾患を多数扱っています。体中の血液の半分がなくなってしまうようなひどい鼻出血を扱うこともあります。更に非常に広い範囲の疾患を扱う科です。大都市ではこの病院は腫瘍専門、ここは鼻専門、ここはめまい専門などと別れています。そしてそのほうが病院にとってそろえる器具を少なくすることができ設備投資を抑えることができます。しかし釧根地区では耳鼻咽喉科の勤務医は極めて少なくすべてを取り扱わなければなりません。特に気道を扱う科ですので緊急性の高いものが少なくありません。そのため重症患者すべてを札幌などの大都市に送ることは不可能です。病院経営にとってはあまり利益の上がらない科ですが、当科にしか助けられない患者さんが存在することをご理解いただくと嬉しいのです。



連携登録医の ご紹介



「やひろクリニック」院長
さめじま やすこ
鮫島 八寿子

先生のモットーをお聞かせください。

幼いころより私自身が肺炎を繰り返したり、父が心筋梗塞でバイパス手術を2回ほど繰り返し、生死をさまよう中、ドクターの何気ない声かけ、病気に対するしっかりとした説明がどれほど不安な心を癒してくれたかわかりません。患者様は皆さん、病気に対して不安を抱えて病院に来られます。丁寧な説明や、専門治療の必要時にはしかるべき病院にご紹介するなど決して自分自身で抱え込まず、諸先輩の意見を聞き患者様にとって一番良い治療や方向性を示せる医師であろうと思っています。

患者さんへのメッセージを お願いします！

循環器内科を中心に、皮膚科、内科、在宅医療を行っております。女性スタッフがほとんどです。女性のやさしさと癒しを持って接したいかと思います。診察以外、相談などでも構いません。必要であればいつでもお声をかけてください。

当院へのメッセージをお願いします。

お忙しい中、いつも患者様紹介時は快くご診察していただき本当に心強く、感謝申し上げます。色々不安や迷われて当院受診の患者様も労災病院ご紹介しますの一言でいつも笑顔になります。今後ともご指導の程よろしく願いいたします。

貴院の特色やPR点をお教えてください。

平成28年8月、加勢内科の後を引き継ぎ（正確には閉院後1年後より開院）しました。まだ、1年数か月しか経っておりません。現在、循環器内科を中心に内科一般、火曜日午後、皮膚科（釧路第一病院院長 木内真理子先生）、隔週月曜日は認知症外来（三好克枝先生）と女性医師の診察となります。循環器内科に関しては、心エコー、ホルター心電図、血管進展性検査（動脈硬化検査）を行っております。採血も院内にて20分ほどで検査でき、異常値があれば速やかにしかるべき病院をご紹介いたします。また、病院通院困難な方の在宅医療も行っております。

連携登録医

やひろクリニック

〒085-0036
北海道釧路市若竹町14-5
☎0154-65-8086



診察時間

[月・火・水・金]
午前/9:00~11:30
午後/14:00~17:30
[木・土]
午前/9:00~11:30

休診日

[第2・4土曜日、日曜日、祝日]
■皮膚科/毎週火曜日午後
■もの忘れ外来/第1・3月曜日
(内科休診)
■心臓血管外科/第1・3・5土曜日



認定看護師紹介

感染管理認定看護師 ^{ばば}馬場 かおり

感染管理 認定看護師とは？

感染管理認定看護師と聞いてどんなイメージを持ちますか？そもそも感染って何？と思う方も多いかもしれません。身近なものですと風邪ですが風邪はウイルス感染によっておこります。体の中にウイルスが入り増えることで発症します。病院は様々な病原体も持っている可能性がある方が来院されます。それらの病原体を入院・外来患者さんやそのご家族、病院で働く職員に拡がらないために活動するのが私の役割です。認定看護師は21分野ありますが唯一「看護」が分野名につかないのが感染管理です。「対患者」だけでなく「対病院」というように病院に関わる全ての人や部署が感染管理の対象となります。具体的な活動は院内で発生した耐性菌（薬の効きにくい病原体）やその他の病原菌検出状況と患者の情報収集、適切な感染対策の実施のための助言、診療報酬でも取り上げられた抗菌薬の適切な使用に関する活動、職員教育の研修会の実施、感染に関する相談の受付と対策への助言、地域住民に対する教育の実施など多岐に渡ります。まとめると患者さんや家族、職員や地域住民などを対象に感染予防・対策の実施、教育などを実践しています。当院で感染管理認定看護師は私一人ですが、感染対策チームのメンバーや職員・患者さんにも協力していただきながら活動しています。

感染症は季節により流行する病気があります。例えば夏は子供が罹りやすい「手足口病」「プール熱」があります。特にプール熱はアデノウイルス感染により発症し、感染力が強いためうつりやすい。昨年釧路で流行した手足口病やヘルパンギーナは無菌性髄膜炎の



原因ウイルスともいわれています。昨年、無菌性髄膜炎が流行した背景に手足口病などが流行したことも関係しているかもしれません。さらに夏は「食中毒」に注意が必要です。食中毒が感染症と思うかもしれませんが食中毒は細菌などが繁殖して起こります。夏は食品管理も重要な感染予防になります。冬はインフルエンザ、ノロウイルス感染症が多くなります。インフルエンザは高熱が出るという印象が強いですが今年は微熱程度でもインフルエンザB陽性患者が何人もいました。のどの痛み、体のだるさ、咳などの症状があるときはマスクを着用してお近くの病院へ受診してください。



感染症に罹らないためには元気な体づくりが必要です。規則正しい生活と睡眠、バランスの良い食事をとりましょう。感染予防で最も重要なのは手洗い・手の消毒の実施、マスクの着用です。正しく抗菌薬を使うことも重要です。院内に掲示している咳エチケットポスターは感染予防の第1歩です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

外来・入院患者に問わずどなたでも感染予防や対策、在宅での対策などお悩みのある方はいつでも相談して下さい。各外来・病棟の看護師や地域連携センターの職員に伝えていただければお話を伺いに参りますのでぜひご活用ください。

<p>内科 安孫子 怜史 (アビコ サトシ)</p> <p>消化管癌の内視鏡診断・治療の分野を中心に、皆様のお役に立てよう、頑張ります。宜しくお願いいたします。</p>	<p>内科 江端 浩 (エバタ コウ)</p> <p>是非、血液疾患につき、ご相談ください。宜しくお願い致します。</p>	<p>内科 佐々木 隼 (ササキ ルイ)</p> <p>地域の医療に役立てよう、精進してまいります。宜しくお願いいたします。</p>
<p>内科 桜井 健介 (サクライ ケンスケ)</p> <p>道東地域の皆様のため、力を尽くします。宜しくお願い致します。</p>	<p>内科 吉河 歩 (ヨシカワ アユム)</p> <p>宜しくお願い致します。</p>	<p>内科 野澤 俊一郎 (ノザワ シュンイチロウ)</p> <p>皆様のお役に立てよう、全力で頑張ります。</p>
<p>神経内科 佐藤 翔紀 (サトウ ショウキ)</p> <p>道東の医療に貢献できるよう努めます。宜しくお願い致します。</p>	<p>外科 石川 隆壽 (イシカワ タカヒサ)</p> <p>消化器外科、内視鏡外科手術を中心に頑張っています。</p>	<p>外科 小林 展大 (コバヤシ ノブヒロ)</p> <p>皆様のお役に立てよう頑張ります。</p>
<p>外科 笠原 里紗 (カサハラ リサ)</p> <p>皆様のお役に立てよう頑張ります。宜しくお願い致します。</p>	<p>整形外科 加藤 琢磨 (カウ タクマ)</p> <p>下肢疾患を主に担当します。</p>	<p>形成外科 松田 識郁 (マエダ ナリフミ)</p> <p>地域の皆様のために尽力致します。</p>
<p>脳神経外科 伊東 雅基 (イトウ マサキ)</p> <p>これまでのキャリアで学んだことを生かし、脳神経外科疾患の診療に生かしていきたいと考えています。特に、できるだけ患者さん・ご家族やスタッフ・他職種の皆さんにわかりやすい説明の上チーム医療を行うことを目標にしたいと考えております。</p>	<p>脳神経外科 三木 浩一 (ミキ コウイチ)</p> <p>釧路地域の医療に貢献できるよう頑張ります。</p>	<p>泌尿器科 小野 敦彦 (オノ アツヒコ)</p> <p>頑張ります。</p>
<p>産婦人科 氏橋 一紘 (ウジハシ カツヒロ)</p> <p>地元釧路で皆さんのお役に立てよう頑張ります。</p>	<p>眼科 藤戸 達彦 (フジト タツヒコ)</p> <p>患者様それぞれの症状に寄り添う診療を心掛けてまいります。</p>	<p>耳鼻咽喉科 保立 裕史 (ホタテ ヒロシ)</p> <p>釧路の皆様に関心をもってもらえる医療を行えるよう尽力いたします。宜しくお願い致します。</p>
<p>臨床研修医 菅原 悠太郎 (スガハラ ユウタロウ)</p> <p>地域の皆様のため、精一杯取り組みます。</p>	<p>臨床研修医 福島 瑛 (フクシマ アキラ)</p> <p>体力には自信があります!! 宜しくお願い致します。</p>	<p>臨床研修医 山本 葉一 (ヤマモト ヨウイチ)</p> <p>未熟者ですが、少しでも戦力になれるよう、日々努力して参りますので、宜しくお願い致します。</p>

医師の人事異動のお知らせ(退職)

退職21名

<p>【内科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高橋 一宏 (練馬光が丘病院) ・寺下 勝巳 (JCHO札幌北辰病院) ・平田 甫 (北海道大学病院) ・更科 耕一郎 (網走厚生病院) ・松田 宗一郎 (国立函館病院) ・西田 千尋 (帯広厚生病院) 	<p>【神経内科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江口 克紀 (北海道大学病院) <p>【外科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江本 慎 (がん研有明病院) ・石川 倫啓 (砂川市立病院) ・佐野 修平 (旭川厚生病院) <p>【眼科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海野 茂樹 (眼科海野医院) 	<p>【整形外科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藪内 康史 (製鉄記念室蘭病院) ・竹内 博紀 (帯広厚生病院) <p>【形成外科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉井 政澄 (北斗病院) <p>【脳神経外科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林 聡 (札幌麻生脳神経外科病院) ・藤原 史明 (福岡大学医学部) 	<p>【泌尿器科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古御堂 純 (北海道大学病院) ・平田 由里絵 (北海道大学病院) <p>【耳鼻咽喉科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒風澤 知明 (王子総合病院) <p>【臨床研修医】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長井 惇 (北海道大学病院) ・徳廣 泰貴 (北海道大学病院)
---	--	---	--

平成30年度
釧路ろうさい
病院

がんサロン ひなたぼっこ

釧路ろうさい病院 緩和医療委員会

当院では、がん患者様やご家族の皆さまが日ごろ抱えている悩みや体験等を語ったり、情報交換をしたりする場としてがんサロン「ひなたぼっこ」を毎月開催しております。どうぞお気軽にご利用ください。

参加対象者	がん患者・家族(当院の患者様でなくても参加可能)
場 所	9階人間ドック室 (変更あり)
費 用	無料 9階人間ドック室開催時はお茶やコーヒーなどを用意しております。
開催内容	予約は不要です。当日開催場所へお越しください。出入りは自由です。患者さん・ご家族の語りあいが中心となります。開催時間のはじめの30分程度ワンポイント学習会があります。

月日	時間	ワンポイント学習会の内容
4/25 (水)	13時~15時	ハンドケア
5/15 (火)	13時~15時	お口からはじまる健康管理
6/27 (水)	13時~15時	採血・採尿データを学ぼう
7/27 (金)	13時~15時	あなたにもできるリンパ浮腫ケア
8/22 (水)	13時~15時	最期まで自分らしく生きる ※ミニイベント:「川柳・俳句の会」を予定
9/21 (金)	13時~15時	毎日食事を美味しく食べる工夫
10/17(水)	13時~15時	痛みとの上手な付き合い方
11/20(火)	13時~15時	臨床試験・治験について
12/18(火)	13時~15時	冬の感染症を予防しよう! ~インフルエンザやノロウイルス対策のお話~ ※ミニイベント:「クリスマス会」を予定
1/25(金)	13時~15時	自宅でできるリハビリテーション
2/19(火)	13時~15時	あなたが利用できる社会制度を知っていますか?
3/19(火)	13時~15時	気持ちのつらさと対処法

お問い合わせ 地域医療連携総合センター
☎0154-22-7191 (代表) (土日・祝日を除く9時~17時)

おしらせ

肝臓病 専門外来のご案内

平成30年4月より、肝臓疾患に特化した「肝臓病専門外来」を開設しました。肝臓は「沈黙の臓器」と言われ、自覚症状がないまま病気が進行していきます。そのため、肝臓疾患(肝炎)を防ぐには早期発見・治療がとても大切です。当院では、隔週木曜日肝臓専門医が患者さんに合った最適な治療方針を決定し、治療させていただきます。消化器疾患の中でも肝臓病に関しては、特に専門性を必要とする領域です。健康診断等で肝機能異常を指摘された方、肝臓病でお悩みの方、症状が出てからでは遅いです。是非お気軽にご相談ください。

平成30年度

診察日

第1・3木曜(4・6・7・8・9・10・12月)

第2・4木曜(5・11・12・3月)

時間/10:00~15:00

担当医

北海道大学より3人の肝臓専門医が交替で診察にあたります。

お問合せ

地域医療連携総合センターまでお問合せください。

NEW \最新の/ マンモグラフィ装置 を導入しました!

当院では、最新の3Dマンモグラフィ装置を導入いたしました。2004年からは、40歳以上の女性に2年に1回の乳がん検診を推奨するなど、国を挙げて乳がんの早期発見・早期治療に向けた取組が積極的に進められています。この度導入される機器は、乳腺の重なりを立体的に確認できる3Dマンモグラフィ機



能を搭載し、乳腺が発達している人でも病変の観察が容易となっているなど、乳がん発見精度の高い検査が可能となっております。なお、当院での撮影は女性技師が担当いたします。「私だけは大丈夫」と思わずに、是非この機会に当院での受診をお勧めします。

その他、詳細についても
お問合せください!

釧路労災病院/医事課(8:15~16:00)

☎0154-22-7191(内線2107)

一般市民向け

第12回/道東地区エイズ拠点病院等連絡協議会・研修会

特別講演会

「HIV検査相談室サークル札幌
10年のあゆみ」～現状と課題～

日時 6月9日(土)午後4時開場
(午後5時30分頃終了予定)

場所 釧路労災病院
3階講堂

今後のイベント開催予定

高校生向け

「高校生のための医療福祉
体験セミナー」2018

日時 7月22日(日) 午後1時開場(午後5時終了予定)

対象 釧路・根室地域
高校生

場所 釧路労災病院

定員 100名程度

編集 後記

暖かくなり、外に出るのが楽しい季節となりました。ゴールデンウィーク皆様はいかが過ごされましたか?私は釣糸を垂らし、春の日差しを感じながら、ゆったりとした時間を過ごしておりました。釣果は・・・(編集長H)



独立行政法人労働者健康安全機構

釧路ろうさい病院

〒085-8533 釧路市中園町13番23号

TEL/0154-22-7191(代表) FAX/0154-25-7308

地域医療連携総合センター

TEL/0154-32-3436(直通)

<http://kushiroh.johas.go.jp/>

くしろろうさいびょういん 検索

